

50年度 研究所だより

1. 研 究 室

第 1 研 究 室 (保健物理学)

i □ 頭 発 表

- a. スパークによるエッチピット自動計数法の基礎的検討 (Ⅲ)
河合廣, 森嶋彌重, 丹羽健夫, 古賀妙子, 一山佳正, 西脇安; 日本保健物理学会, 第 11 回研究発表会 (昭和 51 年 3 月)
- b. スパークによるエッチピット自動計数法の基礎的検討 (Ⅳ) 速中性子束密度の測定
河合廣, 森嶋彌重, 丹羽健夫, 古賀妙子, 羽吉秀昭, 西脇安; 日本保健物理学会, 第 11 回研究発表会 (昭和 51 年 3 月)
- c. 固体飛跡検出器による生体内ホウ素の定量
矢崎光好, 河合廣, 森嶋彌重, 鶴田隆雄, 桂山幸典, 石田政弘; 日本保健物理学会, 第 11 回研究発表会 (昭和 51 年 3 月)
- d. 固体飛跡検出器における α 線の検出効率の測定
初崎順一, 河合廣, 森嶋彌重, 鶴田隆雄, 桂山幸典; 日本保健物理学会, 第 11 回研究発表会 (昭和 51 年 3 月)

ii 講 演

- a. 西ドイツにおけるトリチウムの研究と原子力施設の見学
河合廣; 日本原子力学会, 第 27 回トリチウム対策研究専門委員会 (昭和 51 年 2 月)
- b. 環境におけるトリチウム
河合廣; 日本原子力学会, ダイナミックス研究専門委員会 (昭和 51 年 3 月)

第 2 研 究 室 (放射線化学, 核電子工学)

i □ 頭 発 表

- a. イソグアイアズレンと無水マレイン酸, アクリル酸との反応
橘芳純, 大谷靖, 園田博, 小倉勲; 第 19 回香料・テルペンおよび精油化学討論会 (昭和 50 年 10 月)

第 3 研 究 室 (応用放射線物理)

i □ 頭 発 表

- a. Ge(Li) 半導体検出器の γ 線スペクトルの解析に関する若干の検討
三木良太, 佐藤雅博; 第 12 回理工学における同位元素研究発表会 (昭和 50 年 6 月)

ii 講 演

- a. 放射線取扱主任者による現場教育の問題点
三木良太; 第 16 回放射線取扱主任者部会総会 (昭和 50 年 7 月)
- b. 主任者の役に立つ測定法と測定限界
三木良太; 日本アイソトープ協会関西主任者部会研究会 (昭和 51 年 2 月)

iii 論 文 発 表

- a. 光核反応による PVC シート中の金属元素の放射化分析
近藤嘉秀; Radioisotopes, **25**, 105 (1976)

原子炉工学科 放射生態学研究室

i 口頭発表

- a. Environmental Behavior of Binuclear Oxyge-Bridged Nitratonitrosylruthenium Complex
Y. Honda, Y. Kimura, Y. Nishiwaki*, T. Ishiyama**, T. Mamuro** (*: I. A. E. A., **: Radiation Center of Osaka Prefecture.)
I. A. E. A. "International Symposium". held at Otaniemi, Finland. June, 1975.
- b. 海水中における溶存有機物質と放射性核種との相互作用—放射性コバルトについて—
本田嘉秀, 木村雄一郎, 南條辰朗, 荻野敏昭: 日本放射線影響学会, 第18回大会, 昭和50年10月
- c. 虹鱒卵および仔魚による放射性核種の摂取, 蓄積ならびに排出 (V)
木村雄一郎, 本田嘉秀, 乾剛博: 日本放射線影響学会, 第18回大会, 昭和50年10月
- d. 中枢神経系に対する放射線障害の電子顕微鏡による観察 (III)
木村雄一郎, 長瀬徹也*, 山下久雄* (*: 慶大医): 日本放射線影響学会, 第18回大会, 昭和50年10月
- e. がん患者の神経障害とその対策に関する研究
木村雄一郎: 厚生省がん特別研究発表会, 昭和51年1月
- f. 放射生態学領域への TLD の応用 (I)
木村雄一郎, 本田嘉秀, 前川研二: 日本保健物理学会, 第11回研究発表会, 昭和51年3月
- g. ^{241}Am の虹鱒仔魚による摂取, 蓄積ならびに排出について (1)
木村雄一郎, 西川善典, 森口竜雄, 本田嘉秀, 阪上正信*, 小林明美* (*: 金沢大理): 日本保健物理学会, 第11回研究発表会, 昭和51年3月
- h. ^{241}Am の虹鱒仔魚による摂取, 蓄積ならびに排出について (2)
木村雄一郎, 西川善典, 森口竜雄, 本田嘉秀, 小林明美*, 阪上正信* (*: 金沢大理): 日本保健物理学会, 第11回研究発表会, 昭和51年3月

ii 論文発表

- a. Environmental Behavior of Binuclear Oxyge-Bridged Nitratonitrosylruthenium Complex
Y. Honda, Y. Kimura, Y. Nishiwaki*, T. Ishiyama**, T. Matsumura**, T. Mamuro** (*: I. A. E. A., **: Radiation Center of Osaka Prefecture.)
"Impacts of Nuclear Releases into the Aquatic Environment", IAEA-SM-198/45, 107~120 (1975)
- b. 一特集 放射線と細胞— 放射線による中枢神経組織の微細構造の変化
木村雄一郎: 細胞. 7, (12), 532~547 (1975)

2. 管 理 室

(昭和50年4月1日~昭和51年3月31日)

i. 原子炉施設および RI トレーサー・加速器棟利用状況

a) 原子炉施設および RI トレーサー・加速器棟使用登録者数

教 員	{	原子力研究所	8 名
		理工学部 (原子炉工学科, 化学科, 基礎教育部門)	17 名
		農学部 (農学科, 農芸化学科, 水産学科)	5 名
		薬学部 (薬学科)	1 名
学 生	{	理工学部	53 名
		農学部	3 名
		薬学部	1 名

- b) 原子炉共同利用
 神戸商船大学；昭和50年6月13, 20, 27日 参加者31名
 大阪大学工学部；昭和50年7月15～17日, 8月27, 28日 参加者30名

c) 原子炉施設等見学

原子炉一般公開	昭和50年10月25日	延321名
原子炉施設等見学	26件	延190名

d) 原子炉利用状況

期 間	延運転時間	延熱出力量
昭和50年4月	1.900 hrs	1.0321 Whr
5月	21.815	14.0991
6月	70.463	47.5801
7月	74.867	51.8620
8月	14.433	10.3955
9月	61.116	48.1884
10月	148.877	132.1421
11月	109.314	101.1220
12月	164.174	155.6677
昭和51年1月	110.039	101.2259
2月	66.317	65.3437
3月	2.750	1.0990
累 計	846.065	729.7576

ii. 行 事

昭和50年4月15日	原子炉施設空調設備の工事および性能についての使用前検査合格
4月23日	核燃料物質査察 (IAEA)
4月25日	昭和49年度下期放射線管理報告書 (科学技術庁原子力安全局原子炉規制課)
5月8, 13日	健康診断 (血液検査)
5月22日	RI 取扱い注意および説明会 (教育訓練)
6月12日	健康診断 (血液検査)
7月28日	昭和50年度上期核燃料物質管理報告書提出
9月8日	原子炉定期点検
9月12, 13日	原子炉定期自主検査
9月26日	原子炉定期検査 (科学技術庁)
10月22日	昭和50年度上期放射線管理報告書提出 放射性廃棄物集荷 (日本アイソトープ協会)
10月25日	原子炉一般公開
11月17日	健康診断 (血液検査)
12月18日	電離放射線健康診断報告書提出 (東大阪労働基準監督署)
12月19日	原子力研究所防災訓練
昭和51年1月20, 21日	原子炉定期自主検査
2月13日	ホイストクレーン性能検査 (東大阪労働基準監督署)
3月16, 17, 23日	原子炉定期自主検査